

特集/卒業後の進路を学ぼう①

ぜひ理解してほしい教育課程表(自由選択科目&単位)について

- ◆今、英語Ⅲは週4hだね。音楽は週1h、数学Ⅲも週4hあるよね。これを高校では英語4単位、音楽1単位、数学4単位と数えます。そして1年間学んで、学習の成果が認められると、その単位数が取得できます。＜高校では、取得単位数がたらないと、落第（留年）したり、卒業できなかったりします。＞
- ◆今君たちは、週に6h×5日で30hの授業を受けている。これを高校風に言うと30単位、だから3年間で90単位となる。うち9教科の授業は週26h（学活・道徳・総合・殿中タイムを除く）だから、3年間で78単位になる。これを高校では「必修科目」とか「共通履修科目」という。＜下表中学校の教育課程参照＞
これから先、君たちは様々な高校（私学・公立）の学校説明会に参加したり、パンフレットをもらったりする機会も増え、様々な教育課程表を見るでしょう。
- ◆じゃ、右上の図を見て！①普通科の自由選択科目は10～20単位程度 ②全日制普通科単位制（鳳・市岡など）は35単位 ③今宮・堺東・貝塚など総合学科の自由選択科目は、総合選択科目と合わせて3年間で40～50h（単位分）だ！！④農芸・工業・商業など専門学科の専門科目単位数は3年間で35h～55h（単位分）
- ◆自由選択科目の単位数（授業数）が多いと言うことは、自分でどの授業をとり、いつ受けるのかを決め、自分独自の時間割を作ることになる。つまり、一人一人の時間割が中学のように同じではなく、各自の時間割で教室を移動し、その日の授業を受けることになる。別の言い方をすれば、自分の進路希望に合う授業科目を多く選択でき、より深く、より詳しく、多くの時間学べることになる。
- ◆現在の公立高校では、中学校のように「決められた内容を決められた通りに学ぶ」のではなく、「私が学びたいこと」「私が興味、関心をもっていること」「私の将来に必要なこと」「私に向いていること」など、よく自分を理解して、将来の自分の進路選択に合わせて「学習内容」を自らが選び取っていくカリキュラムになっていることも知っておいてくださいね。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	国語Ⅰ				社会			数学Ⅰ				理科			英語Ⅰ				音楽 美術		保健 体育		技術	家庭	道徳	学活	総合			
2年	国語Ⅱ				社会			数学Ⅱ			理科			英語Ⅱ				音楽 美術		保健 体育		技術	家庭	道徳	学活	総合				
3年	国語Ⅲ			社会			数学Ⅲ				理科			英語Ⅲ				音楽 美術		保健 体育		技家	P T	道徳	学活	総合				

① 普通科	② 全日制普通 科単位制	③ 総合学科	④ 専門学科	⑤ 多部制 単位制
共通履修 科目 70～80 単位程	共通履修 科目 55 単位程	共通履修 科目 40～50 単位程	共通履修 科目 35～55 単位程	共通履修 科目 35 単位程
自由選択 科目 10～20 単位程	自由選択 科目 35 単位程	総合選択 科目（系列） ＋ 自由選択 科目 40～50 単位程	専門科目 35～55 単位程	総合選択 科目（系列） ＋ 自由選択 科目 55 単位程

共通履修科目に加え、将来の目的に応じた専門科目や選択科目を自由に組み合わせ、
自分にあった学び方を実現しよう！！

小石をいくら集めても、岩にはならない。

岩はいくら大きくても、山ではない。

経験をいくら積んでも、それを総括して体系だてないと力にはならない。

知識のこまぎれをいくら集めても、判断はうまれない。

むの たけじ

※2021年度から「高校教育、大学教育、そしてその2つをつなぐ大学入試」を
一体的に変える「教育改革・入試改革」が今、進められています。

順調には進んでいませんが…

知識中心の入試から、記述式問題へ！！

理解・習得している（知識・技能）をどう使うか

（体系的思考力・判断力・表現力）が問われ試される！！

＜中学校の教育課程表＞

※3年生において、本年度はプラスタイムの授業
を設けました。主に①「美・音・技家の授業」
②「5教科の補充授業」に充てます。